



蒲小コミスクだより

第2号 令和8年9月

蒲小 防災訓練参観を通して

～第3回学校運営協議会 熟議から～

9月11日(金)蒲小学校運営協議会を開催いたしました。今回は、学校の防災訓練を参観した後、「子供の安全を守るために」についての熟議をしました。その内容を紹介します。



良かった点・成果



実践的な訓練

けが人が出たり、パニックを起こした子供がいたりする想定で、より実践的な訓練だった。



教師の丁寧な対応

各クラスの防災袋を活用し、負傷した子供へ迅速な手当てができた。



専門家の招聘

木宮教授を招き、専門的な視点からの意見をいただくことができた。



蒲地区地域防災

地域との連携意識

地域でも防災訓練や地震車体験などを行っている実績があるので、それらと関連付けができそうだと感じた。



改善点・課題



ヘルメットの
被り方が…



机の下から
頭が…

基本動作の徹底

ヘルメットの正しい着用や机の下で頭を守ることにについてを再確認させたい。



人員は？



状況把握の徹底

けが人把握、人数確認報告の優先順位を決め、臨機応変に対応する必要がある。



飛散防止
フィルムは？

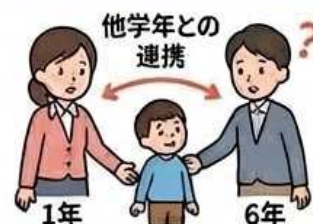


防災設備の充実

担架やガラス飛散防止フィルム、トランシーバーなど、防災設備の充実をはかりたい。

連携体制の強化

教師同士や子供同士、学年学級の垣根を越えて連携や助け合いができるようにしたい。



他学年との
連携

1年

6年

今回の訓練を活かして



① 木宮教授の防災アドバイス

1 日頃の備え・行動

- ・地震時に起こる問題を想定して、教師も子供も自分で考え、行動できるように繰り返し訓練をしていきましょう。
- ・学校からの情報発信や子供たちを通して、保護者の防災意識も高まるといいですね。



2 ヘルメット・防災頭巾

- ・とっさの時は防災頭巾、避難時はヘルメットをかぶることで安全性が高まります。



3 ホイッスル活用

- ・けがをした時や助けを求めるのに便利。鳴らし方を決めておくとよいです。



② 蒲地区の防災：地域での協力



★ 顔見知りになろう

「こども 110 番の家」もあるが、子供は有事に知らない家に助けを求める事は難しい。

地域の方々が下校時刻に外に出て、声を掛けてくれると、子供たちは安心して頼ることができる。

同じく、日頃から地域住民同士で顔見知りになり、交流していくことも大切。



★ 起震車体験しよう

各町の防災訓練で起震車体験を行うとよいと思う。申し込みが多く予約が取りづらいが、学校でも実施できたらよいのではないかな。(今年度は抽選で当たらず)



③ 学校の安全・避難訓練



停電時の対策

校内放送ができない時は、拡声器で対応します。訓練に取り入れていきます。



ヘルメット着用指導

正しくヘルメットを被り、頭を優先的に守る指導を行います。普段からより身近に置くことができる防災頭巾も検討中です。



休み時間の訓練

休み時間の避難訓練を設定し、自分で考えて行動できる力を育てていきます。

防災設備や備品充実

担架やホイッスルを新たに購入したり、飛散防止フィルムを校内全窓ガラスに設置したりして有事への備えを充実させます。

